

科目名／主任講師名	コース／カテゴリ ／単位数	メディア	概要
教養で読む英語 (`19) 主任講師名：大橋 理枝 (放送大学教授)	外国語／学 部／2	OL	自然科学、社会科学、人文学の幅広い分野からテキストを選び、それらを精読していくと共に、毎回ゲストの先生をお迎えしてそのテキストの内容について解説していただく。
看護・医療の英語 (`19) 主任講師名：三品 由紀子 (電気通信大学准教授)、 大石 和欣(東京大学大学 院教授)	外国語／学 部／1	OL	看護・医療の現場で必要な英語の語彙や文法について、会話パターンを中心に基礎的な知識を習得する。また類似した状況において、応用ができるように多くの表現事例を学ぶ。
循環器の健康科学 (`20) 主任講師名：田城 孝雄 (放送大学教授)、専門担 当講師名：佐藤 真治(帝 京大学教授)	生活と福祉 ／学部／1	OL	循環器疾患の病態、症状、治療法に関する講義を行う。また、運動習慣、食事、禁煙などのあるべき生活習慣について講義を行い、生活習慣の改善点について、自分自身を振り返り、行動変容のあり方を、自ら考える。(一般学生、健康・長寿に関心のある学生、介護系の職種)
キャリアコンサルティング 概説(`20) 主任講師名：岩永 雅也 (放送大学長) 専門担当講師名：藤田 真 也(キャリアカウンセリング 協会理事長)、原田 順 子(放送大学教授)、中井 智子(中町誠法律事務所弁 護士)、小杉 礼子(独立 行政法人労働政策研究・研 修機構研究顧問)、末廣 啓子(目白大学教授)、石 丸 昌彦(放送大学教 授)、岡崎 淳一(産業雇 用安定センター理事長)	心理と教育 ／学部／1	OL	少子化・高齢化が進み、人口減少が著しい今日の日本社会にあって、一定の経済成長を継続しつつ安定した生活水準を維持していく上で、「労働生産性の向上」は不可欠の条件である。そのためには、十分な職務遂行能力を有する人材を求める側(求人サイド)と、能力に見合った仕事を求める側(求職サイド)とのマッチングが何より重要なポイントとなる。一方、労働市場の変化により、企業による人材育成(OJT)投資は減少の一途をたどっており、労働者個人の主体的なキャリア形成が求められている。しかし、個人としてできることには限度があり、キャリア形成のために何をすべきか迷っている人々はその年齢階層にも非常に多く存在するのが現状である。2002年度に発足したキャリアコンサルタント資格制度は、そうしたキャリア形成支援の専門家を公的に認定する制度である。本講義では、キャリアコンサルタントの職務内容を縦系とし、それに関わる社会的背景やさまざまな環境を横系として、現代におけるキャリア形成支援の実際について体系的に論ずる。
フィールドワークと民族誌 (`17) 主任講師名：稲村 哲也 (放送大学名誉教授)、池 谷 和信(国立民族学博物 館教授)	人間と文化 ／学部／2	OL	文化人類学の研究の基礎となる、特定の社会での「フィールドワーク」と、その成果を包括的な視点でまとめた「民族誌」を、講師自身の経験を基に具体的に論じる。この講義では、人間社会の最も基本的な営みとしての伝統的生業(狩猟採集、漁労、牧畜、農耕)を軸とするが、とくに、ふたりの主任講師が専門とする狩猟採集と牧畜を中心に据える。狩猟民、牧畜民などと呼ばれる人々は、熱帯林、乾燥地、寒冷地、高地など、農耕に不向きな環境のなかで、自然と対峙し、適応し、また自然を巧妙に利用して伝統的生業を維持してきた。一方で、それらの社会は、現在、急激な変化にさらされている。すでに大きく変化し、もはや狩猟社会や牧畜社会とは言えない社会もある。また、近代化した社会においても、狩猟採集や牧畜の要素が残されている場合もある。この講義では、そうした社会も取り上げる。民族誌の記述においては、生活や文化の多様な構成要素の間の相互関連性が重要であるから、生業とともに、環境との関わり、日常の暮らし、社会の仕組み、外部世界との関係、また、回によっては祭りや儀礼などの非日常の暮らし、歴史や通時的変化などについても、できるだけ包括的に論じる。この講義で扱う社会は、その多くが「周縁的社会」と言えるものだが、それらの社会も現代では世界の動きと大きくかかわっており、「周縁からの視点」によって、世界の動きがより鮮明に見える。なお、講義にあたっては、講師自身が撮影した現地の写真や映像などを多用しながら、フィールドでの経験も紹介していく。

科目名／主任講師名	コース／カテゴリ ／単位数	メディア	概要
言語研究法（'19） 主任講師名：滝浦 真人 （放送大学教授）	人間と文化 ／学部／2	OL	20世紀に確立した近代言語学の基本的な概念と方法を理解し、音声・音韻、文字、形態、文、意味等の領域について、アプローチの基本を学ぶとともに言語データの取扱い方を演習的に学習する。おおむね、「新しい言語学('18)」（ラジオ）で取り上げた方法論以前の言語学を概観する科目。 ※受講にあたって、「言語学」のより広範で包括的な理解を志向される方は、下記教材を併用して学習してください（購入代金は、海外受講モニターの方のご負担となります）。 『言語学入門 これから始める人のための入門書』（佐久間淳一・加藤重広・町田健／研究社、2004年／¥1,980（税込）／単行本162頁／978-4-327-40138-2）
表計算プログラミングの基礎（'21） 一業務効率化をめざして－ 主任講師名：辻 靖彦（放送大学准教授）	情報／学部 ／1	OL	研究や仕事における集計作業等で表計算ソフトを使う機会が増えている。しかし、表計算ソフトを扱う際には似たようなグラフを何度も複製するといった冗長と思われる作業を伴うことが少なくない。本科目では、表計算ソフトのプログラミングの基礎をMicrosoft Excel VBAを用いて学び、最終的に自身の業務における効率化を目指す。
情報セキュリティの理論と基盤（'23） 主任講師名：菊池 浩明 （明治大学教授） 専門担当講師名：上原 哲太郎（立命館大学教授）	情報／学部 ／1	OL	情報セキュリティの専門的な知識を学ぶための前提となる基礎と実践を学ぶ。表層的な知識を薄く学ぶのではなく、何が問題の本質が深く洞察し、正しく理解し、その上で効果的な対処方法を適用できる力を自力で身につけることができるようにするために、基本的な概念を中心に学ぶとともに、それを応用して考える実践例を取り上げる。情報セキュリティに関する資格などを得ようとする際には、必須となる知識・技能を身につけることができる。 【参考文献】 『IT Textネットワークセキュリティ』（菊池浩明・上原哲太郎共著／オーム社（2017年）、単行本206頁、ISBN 978-4-274-21989-4）に沿って学習する。 本書には、電子書籍版および紙版があります。 電子書籍版には本科目受講者用に低価格とした閲覧期間限定版があり、購入方法等は出版社の特設ホームページ（URL： https://www.ohmsha.co.jp/information/ouj.htm ）でご確認をお願いします。 （参考文献の購入代金は、海外受講モニターの方のご負担となります）
情報セキュリティの現状と展望（'23） 主任講師名：上原 哲太郎 （立命館大学教授） 専門担当講師名：菊池 浩明（明治大学教授）	情報／学部 ／1	OL	情報セキュリティの専門的な知識を学ぶための前提となる基礎と実践を学ぶ。表層的な知識を薄く学ぶのではなく、何が問題の本質が深く洞察し、正しく理解し、その上で効果的な対処方法を適用できる力を自力で身につけることができるようにするために、基本的な概念を中心に学ぶとともに、それを応用して考える実践例を取り上げる。情報セキュリティに関する資格などを得ようとする際には、必須となる知識・技能を身につけることができる。 【参考文献】 『IT Textネットワークセキュリティ』（菊池浩明・上原哲太郎共著／オーム社（2017年）、単行本206頁、ISBN 978-4-274-21989-4）に沿って学習する。 本書には、電子書籍版および紙版があります。 電子書籍版には本科目受講者用に低価格とした閲覧期間限定版があり、購入方法等は出版社の特設ホームページ（URL： https://www.ohmsha.co.jp/information/ouj.htm ）でご確認をお願いします。 （参考文献の購入代金は、海外受講モニターの方のご負担となります）

科目名／主任講師名	コース／カテゴリ ／単位数	メディア	概要
物理と化学のための数学 (`21) 主任講師名：橋本 健朗 (放送大学教授) 専門担当講師名：松井 哲 男(放送大学特任教授)、 岸根 順一郎(放送大学教 授)、安池 智一(放送大 学教授)	自然と環境 ／学部／1	OL	自然と環境コースの物理、化学科目に必要な数学の演習科目、主に基本的微分・積分、ベクトルと行列、常微分方程式を学び、講義より手を動かす自習が中心である。
力と運動の物理演習 (`21) 主任講師名：岸根 順一郎 (放送大学教授) 専門担当講師名：松井 哲 男(放送大学特任教授)	自然と環境 ／学部／1	OL	学部TV科目(専門科目)「力と運動の物理」に準拠した演習を行う。対象は当該科目を履修する方々であるが、TV科目とは独立に学習できる内容を提供する。
都市社会構造論(`23) 主任講師名：北川 由紀彦 (放送大学教授)	社会経営科 学／大学院 ／2	OL	都市社会学の研究手法、学説史、研究の最近の動向等について論じる。併せて、都市・地域社会に関する具体的なトピックをいくつか採り上げて、そのトピックに関する最新の研究成果についても論じる。
野外生物調査法(`19) 主任講師名：加藤 和弘 (放送大学副学長)	自然環境科 学／大学院 ／2	OL	野外生物の調査法について、調査の立案から実施、データの整理までの方法を、植生と鳥類群集の調査を主な対象として具体的に紹介し、野外調査を手段とする研究を志す学生や、環境評価、環境コンサルタント等の業務に携わり知識と技術の向上を目指す学生に有益な情報を提供する。加えて、野外での調査研究を事故なく遂行する上で不可欠な安全管理についてのあり方についても説明する。
生態学における情報リテラシー(`23) 主任講師名：加藤 和弘 (放送大学副学長)	自然環境科 学／大学院 ／2	OL	生態学に関する論文や資料を正しく理解するためには、記述のもとになっているデータ、あるいは観察・実験の記録、といった情報を正しく読み解くことが必要である。自ら行った観察や実験の結果を解釈するためにも、情報の適切な処理が不可欠である。生態学における情報処理というと、統計(数値)解析をはじめとする様々な分析手法が思い浮かぶが、そうした手法を成り立たせている基本的な原理原則の理解や、結果の効果的な表現の方法も学んでおくべきである。この授業では、生態学における情報を扱う原理原則から出発し、基本的な分析方法、結果表現の方法を、学術論文の読解や修士論文執筆を意識しつつ学ぶ。